

大東亞建設民族人口資料 三二
昭和十七年四月八日

民族博物館設置に関する資料

第一輯

(一) 特に人口問題に關聯する人類学及び優生学博物館の計畫とその目的
—— ローマ國際人口會議報告ウイルヘルム・タブリネー・クラウス

厚生省人口問題研究所

B50.41
90
1-32

M93A05
22

民族博物館設置に関する資料

第一輯

(一) 人口問題に特に關聯する人類学及び優生学博物館の計画とその目的
—— ローマ國際人口會議報告ウイルム・ダブリュー・クラウス

二十世紀に入つて歐洲及び北米諸國は幾多の事變を通じて、極大なる人口の喪失を招いてゐる。出生率の減退も看過し得ぬその一原因であり、特に中産及び上流階級に於てこの傾向が顯著である。而してこの傾向は從來にも増して人類学及び優生学上の問題に対する輿論に拍車をかけしめるに至つた。

不幸にして従来行はれたる社會生物学に關する結論の多くはこの種調査の指導者及びその門人たる少数者間に普及されてゐるのみで一般大衆には余り知られてゐない。兎もあれ一般世人が容易に理解し得る如き様式による新しき方法と研究の結果を知らしめることは非常に重要なことである。その目的達成の最善の一方と考へ得るものは特に人口問題に

関係して完備せる人類学及び優生学博物館を設置することである。斯かる博物館の重要性は多くの科学者、特にゴールトン及ルンドホルグの指摘してゐるところである。

私は多江博物館に関して深甚なる興味を有し、歐洲各地に旅行して同大陸に於ける主要博物館を視察してその業績及び改善の余地に関して研究した。次の私の提案はこの研究を基礎としたものであるが、勿論これは單に假定的なものであり、幾多の変更を見るべき性質のものである。

先づ博物館の主要部門に関する簡單なる調査から述べることとする。

博物館の主要部門其の他の調査

部 門

一、方法論

二、遺体学説

三、骨学及び古人類学

四、人体学、心理学及び現存人種の分布

五、同族結婚及び混血

六、淘汰問題及び社会生物学的な人口統計

七、応用優生学及び公衆衛生

其の他の重要事項

八、図書館

九、公文書（史料）保管所

十、写真室及び附属暗室

十一、科学的調査に必要な最新式器具の蒐集

現在既に上記の如き若干部門の設備を有する博物館は存在してゐる。特に骨学的蒐集に關しては各文明國は殆んど現れなくこれを完備してゐる。

るのである。然し乍ら私の関知する限りでは上記の凡ての條件を完備し、現在の緊迫せる人口問題と密接なる關係を有する現代人類学及び人類学依学の研究を応用した博物館は存在してゐない。

勿論斯かる簡單なる講演に於て以下述べんとする計畫の詳細を説明することは不可能であり、ここでは単に各部門に關して若干の註を附する程度に止めておく。

人類学及び優生学博物館に關する假定的

計畫の詳細

凡ての部門は写真、模型、一覽表、図解及び地圖によつて解説すべきものである。

一、方法論部門

諸國に於ける各時代の人類学的測量及び觀測用器具

境界標及び測量

人類學的寫真術及び塑像藝術（模型複製）

人類統計學的方法に關する研究

製圖的及び寫真統計學的方法

二、遺傳學的部門

最も重要な遺傳及び植物、動物、特に人間の標準的生理及び心理的
特徴の變り行く現象。

不具（畸形）の遺傳性及び生理的及び精神的疾病。

天才及び犯罪傾向の遺傳性

この部門は其の他の用具と共に多数の寫真及び系統樹を含むべきである。

三、骨學及び古人類學部門

有史以前の人類（石膏鑄型）の時代別及び性別による頭蓋骨及び骸骨

の復話

発見場所の寫眞及び模型、平面及び地層を含む。

先史時代人類の使用せる主要器具。

壁面——先史人の絵画、初期及び後期科学者による人類の系統樹、各種人類学的発見の地理的分布を示す地図。

現存人種の骨格及び頭蓋骨、現存人種の骨格の部分とその性質を示し、併せて斯かる部分の先史人種及び類人猿との比較を示す実物、塑造、鋳型及びその寫眞。

本部門は最も必要なる項目のみを含むべきものであるが、その排列は教育的に、特に系統發展の跡を判然たらしめる。

四、人体学、心理学及び現存人種の分布

各人種の身体内外の構造

出生より年比一成年に至るまでの人間の發育及び老衰現象、特に人種

別に区分する。

人種及び身体的構造

欧、米、地中海をめぐる非ヨーロッパ人種を含む全世界に散在する人種型及び、その構成型に関する大規模なる写真の蒐集。旅行中集めしもの及び科学的出版物の複写を含む。

畸形人

双生児の問題

血清学的調査に於ける最も重要な現象及びその人類学的重要性
人種心理学の主要特徴。人種別による姿勢。

歩度、模倣及び精神的病的状態を示す写真及びフィルム。

実験による智的調査の結果

人種と美的要素

壁面——興味深き型野の拡大版。初期及び後期科学者による諸人種分類
計画

先史以来の世界の植民、人類の主要なる放浪、各国及び各時代の絶対人口と人口密度を示す地図
各民族、人種及び宗敎の地理的分布を示す地図

五、同族結婚及び混血

植物及び動物に於ける同種蕃殖及び混血の主要現象

人間に於ける同様結婚及び混血の生物学的帰結の問題

雜種強勢及雜種弱勢の問題

同族結婚及び混血の優生学的重要性。寫真、系統樹、出生率及び死亡率

一覽表

地図——主要各国に於ける各時代の奴隷賣買方法及びその中心地

過去及び現在の主要同族結婚及び雜種地帯

特殊事例

各国に於ける猶太人及び非猶太人の混血。米國に於ける黑人及び黑人以

外の人種との混血。

白人及びアメリカ土人との混血。

欧亜混血人種。

蘭印に於ける混血。

布哇に於ける雑管。

南アフリカに於ける雑管

六、淘汰問題及び社会生物
学的人口統計部門

環境の淘汰的影響

全世界の気候、土壤、植物、動物の分布。

人間生活に適不適の地帯

全世界及び各時代を通じて異なる文化様式の分布

生物学的淘汰の主要現象。

諸国及び各時代に於ける主要なる生理的及び心理的疾病的分析及びアルコホルの消費。

各種疾病の淘汰的影響と出生率及び死亡率に及ぼすアルコホルの乱用、社会的淘汰の主要現象。

大規模なる写真保管所に異なる人種型及び各種社会階級の構成型、特に各人種及び時代に亘る男女を含む著名人士及び罪人の型を蒐集する。

地図及び一覽表——各國及各時代に於ける著名人士の分布

各國の性的状態（婚姻、離婚、私生児、賣娼）

各國に於ける犯罪諸様相の分布

各時代及び諸人種の有する社会層。

過去及び現在に於ける各國、人種、社会階級及び宗教団を通じてみる出生率、死亡率、出産過剰及び出生率の減退。

移住（移出及び移入）の淘汰的重要性

海峽及び都市化——各種大都市の發展。各平方材料及び各戸の人口密度。

各国及び各時代に於ける戦争の淘汰的影響。

過去及び現在に於ける陸海軍の強弱。尸史を通じてみる戦争による損失。
植民問題——歐洲及びアジア在住諸人種の植民地。ソヴイエット、ロシ
アの人種的新国家組織。猶太人問題。

七、応用優生学及び公衆衛生部門。

地図及び一覽表——優生学的婚姻禁止令の分布。特に人種を異にする個
人間の國際結婚の禁止。

断種法の分布。各国に於ける断種法の施行範圍。

結婚相談所の公布状態。

人類学及び優生学講座の分布。

優生学研究所及び協会の分布。

各国に於ける衛生状態発展の一般的特徴——被服、住宅、学校、職場、
浴場、衛生施設、避暑（寒）地、旅行者管理、食堂、施設、運動其の他

に關して。

大都市に於ける衛生施設状態。

現代植民政策の衛生設備の動向。

職業及び運動の人体に及ぼす影響。

博物館内に於ける事物の配置

凡ての事物は必要なる説明を加へたる大小各種の貼紙添附のこと。

重要理念に關する定義記載の貼紙を壁面に掲げること。

物体を全面的に觀測せしめるために、多くのものはガラスのケースに置めること。

各人種別の寫眞は寫眞帖に蒐集して手近な場所におくこと

最も著名なる先哲者の肖像、人類学、優生学及び人口問題諸分野の研

究に於けるもの及びその拡大版、系統樹、地図、絵画等の博物館の目的

に關聯するものは關係各室の特別スタンド又は壁面に掲げること。

実物蒐集以外の重要事項

専門図書館

近代の器具の蒐集。

講演用スライド及びフィルムの蒐集。

暗室設備のある写真室。

蒐集されたる現物の財産場所としての保管所。

方法論の部門に於てはその初期より現在に至る各時代の人類学的、優生的及び統計学的調査及び展覽方法による発展径路を明かにする。

遺体学説部門は博物館の其の他の部門に於ける了解を深めるための基礎をなすものである。斯かる部門は既に倫敦のカルトン博物館、ドレスデンの独逸衛生博物館、紐育の米國自然科学博物館に於て実現されてゐる。

骨学及古人類学部門は現存諸人種と各自間の關係に關して推測する、系統史的進化状態を示すものである。斯かる部門は羅馬の人類学研究所

フロレンスの帝室人類学及び人種学博物館及び倫敦の帝室外科大学内の
ハンター博物館に設置されてゐる。

人体学、心理学及び現存人種の分布部門に於ける主要なる課題の1は、
寫眞の蒐集によつて吾人の知識の缺陷を補ふことである。「型」の選抜
に際しては現在点に行はれてゐる凡ゆる人類学的調査研究に基き、最も
代表的なるものを選びべきである。而して新たなる調査はなるべく信頼
すべき資料の蒐集を目的と爲すべきである。多くの国々では未だ断片的
な人類学的資料が存在するのみ、突然におかれ、これらにより代表的な資料の蒐集
寫眞を撮り得る程度のものであるが、これらにより代表的な資料の蒐集
と共に速かに交換するべきものである。現存の歐洲其の他の人種に關す
寫眞資料は未だ代表的と言ふべく余に不完全なもの多しことを遺憾と
するものである。

又この部門内に「人種と美的要素」なる一群のあることは人々に奇異
の感を興へるのみならず、然し蓋は人類の生存に重要なる役割を演じ

てゐるのである。こゝは常に注目されてゐることであり、特にダンラツ
プ（一九二〇年）及びレンツ（一九三一年）によって再び強調されてゐ
るのである。

同族結婚及び混血部門は系統的には單に遺傳學說部門の一部を爲すもの
である。然しこの二現象は特殊なる遺傳的要素の結合状態を示すもので
あり、社会状態に多大の影響を及ぼすものであるから、一の獨立部門と
しての存在を許さるべきものであると思ふ。

人種間の同族結婚及び混血の影響を調査する爲にはその一部としての植
物及び動物に関するこの方面の調査が不可缺の問題である。

この小部門に於ては同族結婚或は混血の生物学的結果が如何なる様式
によつてその人種的生理的特徴を遺傳しつゝあるかを明かにすべきであ
る。

屢々議論されつゝも余はその事實の知られてゐない雜種強勢及雜種弱
勢の問題は特に注目すべき性質のものである。

同族結婚及び混血の優生学的重要性に關する小部門に於ては各人種及び社会階級内に如何なる程度の同族婚乃至混血が行はれてゐるかを最大限度に明瞭ならしむべきである。のみならず、強度の血親婚又は混血の行はれたる家族内の著名人士又は罪人に關する写真、系統樹を蒐集することは興味深いことである。

勿論信頼するに足る資料の蒐集は常に困難を伴ふものである。然しその部分的な資料はイーフィッシャー（一九一三年）、ロイター（一九一八年）、ローデングアルド（一九二七年）、ロツトシイ及びゴツデイン（一九二八年）、シヤパイロ（一九二九年）等の著名なる学者の調査より引用し得るのである。又アプサラの人種生物学研究所に於ける研究、特ロルンドホルグ及びワールンド両氏による瑞典のラツプ人に就ての人種生物学的研究は人類の同族婚及び混血の問題に寄與する所大である。

淘汰問題及び社会生物学的人口統計部門の内容に關しては特に詳細なる説明を加へる必要はない。

特に興味深く考へられるものは人種型及び各種社会階級別構成型を示す完備せる写真保管所を設置である。今夏（一九三一年）ストックホルムに於てストックホルムの *Swedish Ethnographic Exhibition* 展覧会に於て瑞典の各階級型を蒐集せるものが註釈附で展覧されてゐる。

「各時代に於ける諸人種の社会層」なる小部門は、史的発展過程に於て人種別諸階級が如何なる程度に異つてゐるかを示すべきものである。この方面に関するよき試みとしてウィーンの社会経済博物館の研究があり、これは亦社会生物学的に興味ある多くの事物を含んでゐる。

応用優生学及び公衆衛生部門は普通の博物館では單に一小部分たり得るのみである。この部門に関する設備を完備する爲には莫大なる経費を要するからである。従つてこゝでは又一覽表、地図、写真、若干の模型等を展覧し得るに止まるであらう。

一九三〇年にドレスデンに於て開催された彼の有名な国際衛生展覧会は本年（一九三一年）も再開されるが、これは前記二部門に関する「物

の極大な蒐集を含んでゐる。

前記諸部門の殆んど大部分に關する材料は亦紐育コールトスプリングの優生学記録所に於てダヴエンホート及ロフリン両氏によつて蒐集されてゐる。

博物館内の配置に關しては單に多数の事物を並列することなく、美術的觀点より注意深く排列さるべきである。その典型的なものにミュージニッヒの独逸博物館があり、こゝではその排列が専門家の協力によつて美的要素を完備してゐるばかりでなく、美術家の協力により壯麗な壁画をも藏してゐるのである。

実物蒐集以外の重要事項の一として特に強調すべきは完備せる写真室である。そのよき一例は伯林ダーレムのカイザー・ウィルヘルム人類学、遺伝学及び優生学研究所のそれである。

言ふまでもなく博物館の科学者は單なる蒐集専門家として終始すべきではなく、能小範圍内に於て調査研究を怠し、優生学的理念の散布に貢

献すべきである。

博物館に関する一般大衆向け印刷物は本事情の許す範囲に於て発行されなくてはならぬ。

突に博物館に対する経費は有意義なる投資である。却ち、斯かる貴重なる事物の蒐集は一面科学者の研究を便ならしめると共に他面に於ては一般大衆をして重要なる社会生物学的関心を深めしめるものだからである。

